

## 福島第一原子力発電所 蒸発濃縮装置 漏えい水の海洋流出について

放射性物質を含んだ水の海洋流出量は、約150リットル。

漏えい水の放射性物質濃度は、主要核種であるストロンチウム89、90、セシウム134、137の以下の濃度値から求めた結果、合計 $2.6 \times 10^{10}$ ベクレル(暫定値)と評価。

[内訳]

ストロンチウム89： $7.4 \times 10^4$ ベクレル/cm<sup>3</sup> ( $1.1 \times 10^{10}$ ベクレル)

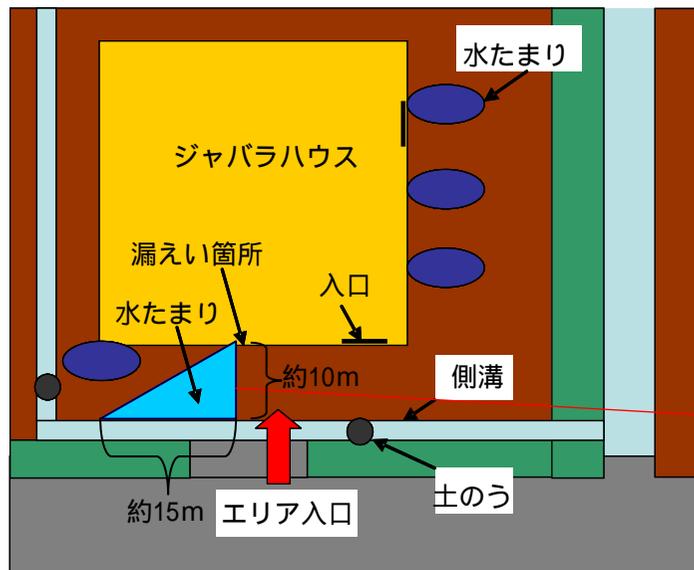
ストロンチウム90： $1.0 \times 10^5$ ベクレル/cm<sup>3</sup> ( $1.5 \times 10^{10}$ ベクレル)

セシウム134： $1.6 \times 10^1$ ベクレル/cm<sup>3</sup> ( $2.4 \times 10^6$ ベクレル)

セシウム137： $2.9 \times 10^1$ ベクレル/cm<sup>3</sup> ( $4.4 \times 10^6$ ベクレル)

(平成23年12月4日採水、ストロンチウムの量は全 放射性物質濃度から評価した結果)

この値は、福島第一原子力発電所の放射性液体廃棄物の年間放出管理目標値 $2.22 \times 10^{11}$ ベクレルの12%に相当する。



漏えい箇所の概略図



漏えい(水たまり)の状況



漏えい箇所の状況